

シラバス

2023年度版



鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技 I	曜日・時間	月曜日 9:10～

【授業概要・目標】	
概要：臨床に必要な運動器疾患の理学所見と鑑別法、その疾患を学ぶ。	
目標：患者を想定し陽性所見の意義・病態を噛み砕いて説明できる。	
疾患部の解剖構造を理解し、その局所への治療技術を身につける。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	総論(主訴・現病歴、POMRなど)
2	頸・上肢痛-1
3	頸・上肢痛-2
4	頸・上肢痛-3
5	頸・上肢痛-4
6	五十肩-1
7	五十肩-2
8	五十肩-3
9	五十肩-4
10	腰痛-1
11	腰痛-2
12	腰痛-3
13	前期まとめ
14	前期実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰・下肢痛-1
2	腰・下肢痛-2
3	腰・下肢痛-3
4	腰・下肢痛-4
5	膝関節-1
6	膝関節-2
7	膝関節-3
8	膝関節-4
9	その他の疾患と検査-1
10	その他の疾患と検査-2
11	その他の疾患と検査-3
12	その他の疾患と検査-4
13	後期まとめ
14	後期実技試験
15	評価点検

評価方法	実技試験の結果、出席・課題の提出状況による。
授業の進め方	教科書・デモンストレーションをもとに、解剖構造・検査意義を確認しながら進める。 ※本年度の臨床実習では、患者に対して理学所見・検査法を行っていただきます。
注意 (学生に望むこと)	積極的に課題(ノート作成)に取り組み、構造や動きを理解すること。 また理解したうえで、医学用語を噛み砕いた患者への説明を考慮して欲しい。
テキスト・参考書	テキスト：『問診・診察ハンドブック』 参考書：『新版東洋医学臨床論』※レポート・調べ物で使用します。必携ではありません。

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	吉本 豊 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	運動学	曜日・時間	月曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 臨床の診察・治療で使う望診術に必要な動作分析の知識と思考方法を、運動学の基礎となっている、解剖学・生理学・神経生理学を通して理解し使えるようにする事を目的にします。動作を見て、どこがどの程度、どの様に悪くなっているのかの判断と、何故その状態になったのかを、東洋医学思考方法で理解できるようになって頂ける様に進めて参ります。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 1 運動学の目的
2	2 運動の表し方 3 身体運動と力学
3	4 運動器の構造と機能
4	5 神経の構造と機能
5	6 運動感覚
6	7 反射と随意運動
7	8 四肢と体幹の運動1
8	9 四肢と体幹の運動2
9	10 姿勢
10	11 歩行
11	12 運動発達
12	13 運動学習
13	前期の復習1
14	前期の復習2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	病態と運動1 頭部
2	病態と運動2 頸部
3	病態と運動3 背部
4	病態と運動4 肩部
5	病態と運動5 腰部
6	病態と運動6 胸部
7	病態と運動7 腹部
8	病態と運動8 臀部・股関節
9	病態と運動9 大腿部
10	病態と運動10 膝関節
11	病態と運動11 下腿部
12	病態と運動12 足関節
13	病態と運動13 足部
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	ペーパーテスト(自由記述方式)
授業の進め方	プロジェクターを使い質問形式を多用して、記憶に残るよう繰り返しを多用します。
注意 (学生に望むこと)	言語表現での内容を記憶せるよう、話を聞き逃さないよう注意してください。
テキスト・参考書	リハビリテーション医学テキスト

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床実習Ⅱ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(前期)

【授業概要・目標】
 ①患者と適切なコミュニケーションがとれる。 ②施術準備ができる。 ③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 務 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床実習Ⅲ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(後期)

【授業概要・目標】
 ①患者と適切なコミュニケーションがとれる。 ②施術準備ができる。 ③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	阿部 康一	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	心理学	曜日・時間	火曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 捉えどころのない「心」の起源を多角的に検討、人の表現型としての行動や能力などから「心」の概念を理解できるよう教授し、医療現場における人間関係及び患者理解の一翼を担える資質の定着を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	心理学は科学か似而非科学か
2	人類史からみた心の起源
3	脳の局在機能と心との関係
4	脳と感覚知覚の関係
5	Personality研究の歴史的変遷
6	Personalityの捉え方と分析方法
7	Personality検査の妥当性と信頼性
8	Personality検査testの実際
9	知的能力研究の暗黒の歴史
10	知能概念の不確定性と虚構
11	知的能力の発達と教育
12	知能測定(数値化)の曖昧さ
13	The Genius Factory(天才製造)
14	Epigenetics(遺伝環境論)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	記憶研究の歴史と記憶術
2	記憶の過程と時間的変異
3	学習と行動形成の過程
4	学習と発達の関連性(発達再考)
5	学習研究と教育の不整合
6	非言語・言語Communication
7	対人Communication
8	対社会Communication
9	異常と正常の心的世界
10	Bernard・Cannon内部環境平衡論
11	Selye Stress学説と心身医学
12	心的異常と障害の症例
13	心的異常と障害の臨床的対応
14	心身医学と東洋医学の接点と展望
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	期末試験の結果により評定(欠席数を加味する)
授業の進め方	通常講義形式・検査テスト実施・実験・VTR視聴
注意 (学生に望むこと)	「人」を理解できる医療従事者になるという自覚をもって受講いただきたい。
テキスト・参考書	毎講義テキスト・資料をプリントにて配布・参考書不要

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床経穴論	曜日・時間	火曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 経絡経穴の基礎知識を深める事と、臨床的な知識を身に付ける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	経穴の学習法、手の太陰肺経
2	手の陽明大腸経
3	足の陽明胃経
4	足の太陰脾経
5	手の少陰心経
6	手の太陽小腸経
7	足の太陽膀胱経
8	足の少陰腎経
9	手の厥陰心包経
10	手の少陽三焦経
11	足の少陽胆経
12	足の厥陰肝経
13	前期復習
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	奇経 衝脈・陰維脈
2	奇経 帯脈・陽維脈
3	奇経 督脈・陽蹻脈
4	奇経 任脈・陰蹻脈
5	奇穴
6	奇穴
7	身体部位に基づく配穴法
8	特定穴による配穴法
9	臨床的な経穴の運用
10	治法八法、虚証の治法と配穴
11	実証の治法と配穴
12	臓腑に対する治法と配穴
13	六淫に対する治法と配穴
14	症候に対する治法と配穴
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	経絡経穴概論

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	山内 明美	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	社会学(半期)	曜日・時間	前期) 火曜日 13:10～

【授業概要・目標】
 現代社会で起きている多様な事象について、社会学理論を通じて問題分析する方法を学ぶ。本講義で取り上げるテーマは、みなさんが社会生活を営んでいく上で直面する問題かもしれません。自分の内側に問いをもちつつ、積極的に参加してください。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	社会学とは何か？①
2	社会学とは何か？②
3	〈他者性〉とつながりの社会学
4	自我とアイデンティティの社会学
5	ストリートの社会学 -格差と貧困をめぐって-
6	ジェンダーの社会学 -フェミニズムからクィアまで-
7	SOGIをめぐる社会学 -性の多様性-①
8	SOGIをめぐる社会学 -性の多様性-②
9	家族社会学と〈子ども〉の誕生
10	権力とメディアの社会学
11	消費社会と情報の社会学
12	グローバリゼーションとリスク社会①
13	グローバリゼーションとリスク社会②
14	総論 近代社会とは何か？
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	出席40点・最終試験60点
授業の進め方	講義形式・初回講義で学生と相談の上、セッションなども検討する。
注意 (学生に望むこと)	現代社会の事象に関心を持ちつつ、講義へ参加してください。
テキスト・参考書	適宜指示する。

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	糟谷 俊彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	曜日・時間	水曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 マッサージの手技を的確にできるようにする。治療に必要な矯正手技(関節モビライゼーション)を、知るようにし、臨床治療について、考えられるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	循環系、体性神経に及ぼす作用 上肢部、下肢部のマッサージ
2	自律神経系、マッサージの五作用 臀部、背腰部のマッサージ
3	興奮、鎮静、反射作用 頭部、頸部、胸部のマッサージ
4	誘導作用、矯正法 腹部のマッサージ
5	皮膚、筋肉、関節に及ぼす作用 上肢のマッサージ、 関節モビライゼーションについて
6	消火器系、呼吸器、泌尿器、 運動療法目的 下肢マッサージ、 モビライ直接法、注意事項
7	運動療法の留意、臀部のマッサージ モビライゼーション・指関節
8	他動運動、自動運動、腰背部のマッ サージ、モビライゼーション・手根中 手関節、手関節
9	抵抗運動、頭部のマッサージ モビライゼーション・手関節
10	矯正法、伸張運動法、頸部マッサー ジ、モビライゼーション・尺骨
11	胸部のマッサージ、
12	腹部のマッサージ、
13	マッサージの復習
14	前期試験(実技試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	マッサージ復習、モビライゼーション・ 趾関節、足根中足関節、
2	マッサージ復習、モビライゼーション・ 楔舟、距舟関節、距腿、距骨下関節
3	マッサージ復習、モビライゼーション・ 膝関節、股関節
4	マッサージ復習、モビライゼーション・ 仙骨、腰椎、胸椎、肋骨
5	マッサージ復習、モビライゼーション・ 頸椎、間接法について
6	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
7	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
8	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
9	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
10	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
11	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
12	マッサージ復習、モビライゼーション・ 直接法復習、間接法
13	モビライゼーションの復習
14	後期試験(実技試験)
15	評価点検

評価方法	実技試験・・・65点以上 合格
授業の進め方	マッサージ、関節モビライゼーションの実技を主とし、実技に対する座学を含める
注意 (学生に望むこと)	マッサージ、関節モビライゼーションを理解し、臨床に応用できるようにする
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、 ノンラストによる関節モビライゼーション(緑書房)

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	宮田 正則 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	曜日・時間	水曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 指圧全身治療法の習得。覚える為には反復練習あるのみ。1年間で3回、反復練習を行いたい。1回目は施術法を覚える。2回目は圧の方向、施術順の意味、等各施術の意義を確認しながら行う。3回目はより細かく、TEXTに無い部位の施術法も教える。圧する時の姿勢、心構えも覚えてもらいたい。座学は10分程度で、出来るだけ実技の時間とする。各部位施術の際には入れて話したい。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	圧す姿勢の確認(どのような姿勢、腕の状態で圧せば良いか)
2	圧法の基本の確認、圧の程度、長さ、間隔の確認。2線の押し方。全身施術、脊柱棘突起の触診
3	全身施術、軽擦→棘突起触診→背部伸展→脊柱手掌圧→母指圧迫(背部)→骨盤上縁→臀溝→下肢
4	全身施術、前回の復習、肩部の施術
5	全身施術、前回の復習、伏臥位、頸部の施術
6	全身施術、前回の復習、頭部→頸部の施術
7	全身施術、前回の復習、上肢の施術→運動法(これで伏臥位施術終了)
8	全身施術、伏臥位施術の復習、仰臥位、前頸部の施術
9	全身施術、前回の復習、顔面部施術
10	全身施術、前回の復習、仰臥位、上肢→下肢の施術
11	全身施術、前回の復習、腹部の施術
12	全身施術、前回の復習、仕上げ施術
13	実技テスト、全身施術反復練習
14	反復練習、2回目開始 脊柱棘突起触診の意味
15	評価点検 全身施術(チェック項目を確認しながら)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰痛の発生機序 腰部→下肢の施術
2	圧の方向 肩→頸部
3	赤門祭対策 …全身施術の簡略形の練習
4	赤門祭対策…側臥位での全身施術
5	前頸部治療の注意点 前頸部の施術
6	顔面部施術の注意点 顔面部施術
7	上肢・下肢施術の注意点 上肢→下肢の施術(より細かい)
8	臀部・大転子・足底部の施術 大腿→下肢→足底の施術
9	下肢中心の施術(30分程度で行う)
10	上肢中心の施術(30分程度で行う)
11	側臥位での上肢の施術
12	側臥位での下肢への施術
13	実技試験
14	これまでで足りなかった部分を行う
15	評価点検 全身施術(チェック項目を確認しながら)

評価方法	施術姿勢、習熟度。
授業の進め方	一步通行にならないよう、対話形式で行う。
注意 (学生に望むこと)	施術手順のみで無く、それぞれの手技の意味、施術している部位の意味、等を学んでほしい。
テキスト・参考書	プリント使用

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	病理学概論	曜日・時間	水曜日 13:10～

【授業概要・目標】 (1) 病理学の基本の習得 (2) 生理学の復習

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章 病理学とはどのような学問か
2	第2章 疾病についての基本的な考え方
3	第3章 病因 (1)
4	第3章 病因 (2)
5	第3章 病因 (3)
6	第3章 病因 (4)
7	第3章 病因 (5)
8	第3章 病因 (6)
9	第4章 循環障害 (1)
10	第4章 循環障害 (2)
11	第4章 循環障害 (3)
12	第5章 退行性病変 (1)
13	第5章 退行性病変 (2)
14	前期学習内容の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第6章 進行性病変 (1)
2	第6章 進行性病変 (2)
3	第7章 炎症 (1)
4	第7章 炎症 (2)
5	第7章 炎症 (3)
6	第8章 腫瘍 (1)
7	第8章 腫瘍 (2)
8	第8章 腫瘍 (3)
9	第8章 腫瘍 (4)
10	第8章 腫瘍 (5)
11	第9章 免疫異常・アレルギー (1)
12	第9章 免疫異常・アレルギー (2)
13	第10章 先天性異常
14	後期学習内容の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

評価方法	小テスト(30%)＋期末試験(70%)を総合して評価。
授業の進め方	・教科書の内容を中心にスライドで講義。 ・毎回の小テストで理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	・A4ファイルを1冊用意すること。 ・分からないところはそのままにせず、調べてみる。
テキスト・参考書	『病理学概論』(東洋療法学校協会編)・配布プリント

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	浦山 きか	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	漢文学(半期)	曜日・時間	前期) 水曜日 14:50～

【授業概要・目標】
漢文を使って東アジアの伝統医学文献を読み解くことができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	授業概要とオリエンテーション
2	第1課～第5課のポイント
3	第6課とその読み方
4	『靈枢』の読み方(1)
5	『靈枢』の読み方(2)
6	本草書の歴史と読み方
7	東アジアの伝統的な医療倫理
8	『傷寒論』とその注釈
9	『千金方』とその注釈
10	『素問』の読み方
11	老年医学の展開
12	日本漢文と医書(1)
13	日本漢文と医書(2)
14	復習とまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	試験8割、提出物2割
授業の進め方	テキストを中心とし、基本的な伝統医学の古典を読むための知識を得てゆく。
注意 (学生に望むこと)	歴史的な文献を読み解く知識はよりよい治療に不可欠と考えられるため、ぜひ身につけていただきたい。
テキスト・参考書	浦山きか『漢文で読む『靈枢』』アルテミシア

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	武藤 永治 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋療法診断法Ⅱ(半期)	曜日・時間	後期) 水曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 授業概要: 鍼灸マッサージの臨床において問診および診察(観察検査)を正しく行うことによって、適切な施術ができるようにすることを目的に学んでいく。
 また、臨床において施術者患者関係が良好に形成されるように心がける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	診断法総論 問診と医療面接
2	消化器系疾患の問診
3	消化器系疾患の診断法①
4	消化器系疾患の診断法②
5	呼吸・循環器系疾患の問診
6	呼吸・循環器系疾患の診断法①
7	呼吸・循環器系疾患の診断法②
8	神経系疾患の問診
9	神経系疾患の診断法①
10	神経系疾患の診断法②
11	全身症状の問診
12	全身症状の診断法①
13	全身症状の診断法②
14	トリガーポイント療法の臨床応用
◆	後期試験 (試験監督は専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	テキストを基にプレゼンテーションで補足説明する形式で講義する。
注意 (学生に望むこと)	各疼痛の病態について理解したうえで授業に参加して欲しい。
テキスト・参考書	東洋医学臨床論(オリエンス研究会)よりプリントを作成して配布する。

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床医学総論	曜日・時間	木曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 東洋療法を实践するうえで必要な臨床医学全般についての知識を修得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	診察の概要
3	医療面接
4	視診・触診・打診・聴診
5	生命徴候
6	全身の診察-1
7	全身の診察-2
8	全身の診察-3
9	局所の診察-1
10	局所の診察-2
11	局所の診察-3
12	神経系の診察-1
13	神経系の診察-2
14	神経系の診察-3
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	運動機能検査-1
2	運動機能検査-2
3	運動機能検査-3
4	女性・小児・高齢者の診察
5	臨床検査法-1
6	臨床検査法-2
7	おもな症状の診察法-1
8	おもな症状の診察法-2
9	おもな症状の診察法-3
10	おもな症状の診察法-4
11	おもな症状の診察法-5
12	おもな症状の診察法-6
13	治療学
14	臨床心理
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	講義形式であるが、対話的に行う。
注意 (学生に望むこと)	解剖学・生理学を復習したうえで授業に臨む。
テキスト・参考書	臨床医学総論

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床医学各論 I	曜日・時間	木曜日 10:50～

【授業概要・目標】 各疾患についての疫学、成因、症状などを学習する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	感染症 I
2	感染症 II
3	感染症 III
4	消化器疾患 I
5	消化器疾患 II
6	消化器疾患 III
7	消化器疾患 IV
8	肝・胆・膵疾患 I
9	肝・胆・膵疾患 II
10	肝・胆・膵疾患 III
11	呼吸器疾患 I
12	呼吸器疾患 II
13	呼吸器疾患 III
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腎・泌尿器疾患 I
2	腎・泌尿器疾患 II
3	腎・泌尿器疾患 III
4	内分泌疾患 I
5	内分泌疾患 II
6	代謝・栄養疾患
7	循環器疾患 I
8	循環器疾患 II
9	循環器疾患 III
10	循環器疾患 IV
11	血液・造血疾患 I
12	血液・造血疾患 II
13	血液・造血疾患 III
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験(小テスト50点+期末テスト50点)
授業の進め方	板書・配布資料。教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある。
注意 (学生に望むこと)	身体の構造と機能をもとに疾患の理解を深める
テキスト・参考書	テキスト:臨床医学各論 参考書:病気がみえる

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋療法診断法 I	曜日・時間	木曜日 13:10～

【授業概要・目標】
東洋医学の施術において必要となる診断法の習得。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸臨床の流れ
2	基本的な問診の仕方
3	腰痛の主要疾患
4	腰痛の問診
5	腰痛の診察法
6	坐骨神経痛の主要疾患
7	坐骨神経痛の問診
8	坐骨神経痛の診察法
9	膝関節痛の主要疾患
10	膝関節痛の問診
11	膝関節痛の診察法
12	頸肩四肢痛の主要疾患
13	頸肩四肢痛の問診
14	頸肩四肢痛の診察法
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	四診の概要、望診
2	舌診
3	聞診
4	問診(主訴の聴き方)
5	問診(寒熱)
6	問診(飲食・睡眠)
7	問診(飲食・睡眠)
8	問診(情志・生活環境)
9	問診(身体各部位の症状・汗)
10	問診(疼痛)
11	問診(女性・既往歴・家族歴・小児)
12	切診(反応・切経)
13	切診(腹診)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	前期:問診・診察ハンドブック、後期:東洋医学概論

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	山田 秀一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技 I	曜日・時間	木曜日 14:50～

【授業概要・目標】 腹部あん摩、伏・側臥位での施術ができるようになる。臨機応変に対処できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	一年時の復習(伏臥位後頸部より腰下肢までの流れ全体)
2	"
3	腹部あん摩①
4	側臥位 肩背部施術(1)
5	肩こりに関する内容説明
6	伏臥位 肩背部施術
7	側臥位 上肢施術(2)
8	上腕痛に関する内容説明
9	側臥位 上肢施術 流注、取穴
10	側臥位 腰施術
11	腰痛に関する内容説明(3)
12	側臥位 腰施術 流注、取穴
13	伏臥位 腰施術・前期復習
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	側臥位 下肢施術(4)
2	下肢痛に関する内容説明
3	側臥位 下肢施術 流注、取穴
4	側臥位 下腿施術(5)
5	側臥位 頸部施術
6	頸部疾患、症状の説明
7	側臥位 頸部施術 流注、取穴
8	側臥位 頭部施術(6)
9	頭部・症状疾患・流注、取穴と施術
10	全体復習(臨床応用)
11	"
12	"
13	"
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	授業(出席)態度、(施術姿勢、習熟度)、各試験での総合評価。
授業の進め方	臨床を目標に互いに施術役、受け役の状況にて見本手技の向上を図る。巡回しながら個々への指導。学生の理解度にて変更あり。
注意 (学生に望むこと)	実技が主となるため、積極的に復習し習得のための練習。
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、(東洋医学手技臨床論)、他プリント

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋医学各論 I	曜日・時間	金曜日 13:10～

【授業概要・目標】
五臓六腑の生理機能と相互関係への理解と東洋医学的観点から病に至るまでの変遷について理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	陰陽五行学説の復習
2	陰陽五行学説の復習
3	生体物質の復習
4	肝・胆の生理作用・病証①
5	肝・胆の生理作用・病証②
6	心・小腸の生理作用・病証①
7	心・小腸の生理作用・病証②
8	脾・胃の生理作用・病証①
9	脾・胃の生理作用・病証②
10	肺・大腸の生理作用・病証①
11	肺・大腸の生理作用・病証②
12	腎・膀胱の生理作用・病証①
13	腎・膀胱の生理作用・病証②
14	前期の復習・まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	心・脾・肝の相互関係、 心・肺・脾の相互関係
2	肺・脾・腎の相互関係、 脾・肝・腎の相互関係
3	肺・脾・肝の相互関係、 心・脾・腎の相互関係
4	六腑の協調関係、全身の気機
5	病因病機
6	病因病機
7	伝変と波及
8	伝変と波及
9	八綱弁証
10	経脈弁証
11	経脈弁証
12	六経弁証
13	衛気営血弁証、三焦弁証
14	後期の復習・まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイント、配布資料にて進める。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学への知識・興味が身に付き始めていると思う。積極的に授業に参加し、板書も記録しておくこと。プリントなどもなるべく失くさないこと。
テキスト・参考書	東洋医学概論

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	金曜日 10:50～

【授業概要・目標】 (1) 要穴による取穴・治療ができるようになる。 (2) 代表的な体表指標がとれるようになる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	刺鍼の基本実技復習(1)
2	施灸の基本実技復習(1)
3	刺鍼の基本実技復習(2)
4	施灸の基本実技復習(2)
5	体表指標の取り方と背部愈穴(1)
6	体表指標の取り方と背部愈穴(2)
7	体表指標の取り方と募穴(1)
8	体表指標の取り方と募穴(2)
9	中間実技試験
10	原絡配穴法(1)
11	原絡配穴法(2)
12	原絡配穴法(3)
13	実技試験の練習
14	前期実技試験
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼灸の補瀉説明と実技
3	灸頭鍼
4	皮内鍼
5	六十九難の取穴と施術(1)
6	六十九難の取穴と施術(2)
7	六十九難の取穴と施術(3)
8	中間実技試験
9	六十九難の取穴と施術(4)
10	六十九難の取穴と施術(5)
11	六十九難の取穴と施術(6)
12	六十九難の取穴と施術 まとめ①
13	実技試験の練習
14	後期実技試験
15	評価・点検

評価方法	実技試験(70%)＋中間実技試験(15%)＋課題(15%)で評価。
授業の進め方	講義30分と実技60分のペースで授業をしていく。
注意 (学生に望むこと)	(1) していないに刺鍼・施灸の練習をすること。 (2) あいさつ・言葉遣い・身なりに気を付け、授業後は実技教室の掃除をすること。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社)・配布プリント

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	業務内容
解剖学Ⅲ	1	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
生理学Ⅰ	1	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
生理学Ⅱ	1	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
衛生学・公衆衛生学	1	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
医療概論	1	30	武藤 永治	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
東洋医学概論Ⅰ	1	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅱ	1	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
経絡経穴概論Ⅱ	1	30	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅰ	1	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	1	60	高橋 務	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	1	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			武藤 永治	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
鍼灸基礎実技	1	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅰ	1	45	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
運動学	2	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
病理学概論	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学総論	2	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅰ	2	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅰ	2	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床経穴論	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅱ	2	30	武藤 永治	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	2	60	山田 秀一郎	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	2	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	2	60	宮田 正則	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			佐藤 光恵	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅰ	2	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
			高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅱ	2	45	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅲ	2	45	高橋 務	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅱ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧理論	3	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅰ	3	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅱ	3	30	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅱ	3	60	浦山 久嗣	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
東洋医学臨床論Ⅰ	3	60	国分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅱ	3	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅲ	3	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学応用概論	3	60	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧臨床実技	3	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			宮田 正則	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅰ	3	60	山田 秀一郎	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3	60	安齋 昌弘	30年以上	治療院を開業し、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅲ	3	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅳ	3	45	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
合計		2520			